

CMで

自分の作品に愛着を！

札幌市立南郷小学校 中谷 広一

～水に浮かべて遊ぶおもちゃ（1年）より～

生活科の学習では製作活動が多くなります。せっかくだつたけれど、こわれたらすぐにゴミ箱へポイ！ではなく、一生懸命に補修したり補強したりする活動に価値が生まれます。

自分が一生懸命につくった作品により愛着をもたせるために、工夫したコマースシャル活動で自分の作品の良さを実感させることが大切になります。

CM-1 《ラジオでコマースシャル》

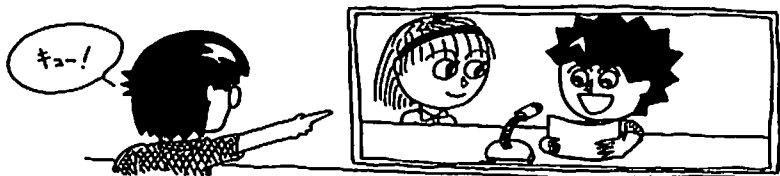
カセットテープに子どもの声を録音します。もちろん録音の内容は、自分の作品の自慢です。

- ① 作文用紙に自分の作品の自慢を書きます。
- ② 原稿を何度も読む練習をします。
- ③ 気分を盛り上げるために放送室のスタジオで録音します。

☆ 作品発表会でテープを聞きながら、だれのかな？とクイズにするともっと楽しく活動できます。

☆ いよいよプールで遊びます。これが不思議不思議。こわれてもなかなか捨てません。多くの子どもが愛着をもって遊んでいます。

ぼくのはこのなまえは、スーパー
ライナイトです。このひこうきは
アメリカのすとうおやぎ、うにゃ
うパッパでできています。だから
がんじょうです。このひこうきは
22センチかうてきぎや、つけにき
ました。いまからは、しゃします。
109876543210ゴ!



CM-2 《テレビでコマーシャル》

子どもたちにとってコマーシャルといえばテレビのCMでしょう。VTRで子どもの作品を録画する活動も大変楽しい活動といえます。

わたしのおひねはね。
もつも すてきな。
まっしずまはないよ。



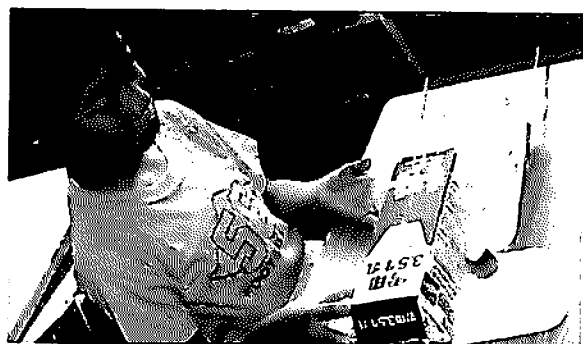
- ① 作文用紙に自分の作品の自慢を書きます。
- ② 原稿を何度も読む練習をします。
- ③ 気分を盛り上げるために放送室のスタジオで録画します。

☆ 事前にラジオコマーシャルやテレビコマーシャルをつくるという活動はふだん恥ずかしがりな子どもも活動に参加することができます。

また、作業が遅い子どももある程度自分のペースで活動することができます。

さらにいくつかのコマーシャルの方法を提示し、子どもに選択させると活動の枠が広がります。

CM-3 《新聞でコマーシャル》



子どもの作品を写真に撮り、雑誌や新聞のコマーシャルのようにレイアウトして自慢や夢をかくことも楽しい活動です。

他にも、もっともっと楽しく活動できるコマーシャルづくりがあるかも知れませんね。